



写真:宮城県観光課提供


計 量 み や ぎ

編集発行
 仙台市太白区長町7-22-23
 宮城県計量検定所内
(社)宮城県計量協会
 TEL 246-2466・FAX 247-1490
www.keiryō.net/

あけましておめでとうございます 謹んで初春のお慶びを申し上げます

**衆知を集めて
「活力とやすらぎのある宮城」を築く**



宮城県知事

村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。皆様には夢と希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、県政を取り巻く環境が大きく変わってきている中、昨年は「宮城の将来ビジョン」を策定し、すべての県民が希望を持って安心して生活できる地域づくりを進めていくため、十年後の宮城のあるべき姿や目標の実現に向けて優先的・重点的に取り組むべき施策を明確にいたしました。

「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」と思える宮城県を構築するためには、しっかりとした経済基盤を築き、創出された富の循環によって、福祉や教育、環境、社会資本整備などへの取組を着実に進めていく必要があります。こうした考えの下、産業を振興することにより、県経済の成長を図る「富県宮城の実現」に取り組み、「平成二十八年度には県内総生産額を十兆円以上にする」という目標の達成を目

指してまいります。

こうした取組に加えて、保健や医療、福祉、教育、治安の強化などの取組を更に推進し、どの地域に住んでも安心して過ごせるよう「安心と活力に満ちた地域社会づくり」や、経済成長と環境保全が両立する社会システムの構築や宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にとどめることを目指す「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」についても全県を挙げて取り組んでまいります。

県財政は、今後も厳しい運営を余儀なくされますが、行財政改革に取り組んでいくとともに、皆様との協働の下、衆知を集めて「富県共創！活力とやすらぎの邦（くに）づくり」にまい進してまいりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます、あいさつといたします。

年頭のご挨拶



会長

鍋島 孝敏

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様方にはご家族お揃いでお元気で新春を迎えられた事と心よりお慶び申し上げます。

私は、昨年六月の通常総会において図らずも理事の皆様方より新会長にご推挙頂き、浅学非才の身ではありますが業界の発展に何かお役に立てれば、とお引き受けさせて頂きました。

丁度、時あたかも世の中では食品の偽装表記問題で老舗と言われる企業から身近な企業まで、業界全体が社会からの信頼を失う事態に直面しております。これは、我が計量業界もその渦中に置かれている国から地方へという規制緩和の流れと、決して無縁ではないと考えられます。検定制度や検査制度といった社会の根幹を支えて来た仕組みが揺らいでいる現在、「豊かな暮らしを守る確かな基準 計量計測」という標語を掲げる我々こそが、今こそ他の業界とも連携を取って社会の信頼性の回復に努める時ではないか、と強く感じております。

これまで先輩諸氏が永年に亘つ

て築き上げて来られた、全国でも有数の協会である(社)宮城県計量協会を引き継ぐに当たって、その責任の重さをヒシヒシと実感して来ております。これからも、協会が益々時代の要請に応えられる組織として発展して行ける様に、役員や事務局の皆様と心を一つにして取り組む覚悟で御座います。

本年も暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

仙台市経済局 産業政策部 経済企画課

課長 木村 智

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には新春を健やかに迎えることとお喜び申し上げます。

日頃より、仙台市の計量行政の運営につきましてご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

全国的には景気は回復基調にあるとはいわれるものの、このところの原油価格高騰といった先行きに対する不安材料もあり、なかなか

か実感が伴うまでに至っておりません。

こうした中、本市においては、市街地を中心に大型の投資が相次ぐとともに、地下鉄東西線の建設も順調に進み、新しい時代の「杜の都」の街づくりが大きく動き出しております。また、昨年は、半導体・自動車関連産業の大型誘致実現の嬉しいニュースもあり、地域産業の発展にとつて、またとないチャンスが到来したものと考えております。

貴協会におかれましては、指定定期検査機関として本市の計量行政を支えていただき早や七年が経過しようとしております。この間の社会経済情勢の変化や技術革新の実施にご尽力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。引き続き、市民生活の安全安心の確保や健全な産業活動の推進のためご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、新年における皆様方の一層のご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



あけましておめでとらうございます

会長	鍋島 孝敏	(日) 東イシダ
副会長	千葉 信弘	(北) 日本環境整備
顧問	伊達 啓公	(株) 藤崎
	石川 光次郎	(宮) 城県議会議員
	渡辺 博	(仙) 台市議会議員
	太田 廣	(宮) 城県計量検定所長
専務理事	鍋島 綾雄	(日) 東イシダ
専務理事	武田 巖	(社) 宮城県計量協会
常務理事	佐藤 尚洋	(社) 宮城県計量協会
常任理事	菅原 功	(計) 量
	加藤 啓二	(仙) 台環境科学
	和田 岑生	(株) 旭商会 仙台店
	星 敏男	(日) 本エンヂニヤサービス(株)東北支店
	加藤 清隆	(仙) 台ヤマトハカリ(株)
理事	平野 節夫	(技) 術安全研究所
	須藤 光義	(一) 般 会 員
	三浦 誠	(ト) キコテクノ(株)東北支店
	及川 洋	(株) 金門製作所 仙台支店
	馬場 安則	(株) 金門製作所 仙台工場
	佐藤 清彦	(み) やぎ生活協同組合
	佐藤 武志	(株) 寺岡システム
	大庭 雅樹	(テ) ックエンジニアリング(株)東北支店
	竹田 甫男	(株) エヌピー東北
	高橋 栄一	(株) 仙台測器社
	嶺岸 優	(株) 東北ターボ工業
	松尾 靖	(東) 北緑化保全(株)
	二階堂 亮一	(計) 量
	橋本 裕之	(愛) 知時計電機(株) 仙台工場
	熱海 周一	(財) 宮城県公衆衛生協会
	浅野 幸雄	(工) ヌエス環境(株) 東北支社
	大湯 澄	(大) 湯 商 店
監事	甲斐 健一	(財) 食品環境検査協会
	鈴木 昇二郎	(東) 陽エンジニヤ(株)

他事務局一同(敬称略)

平成十九年度

東北・北海道計量大会

十月四日(木) 北海道厚生年金会館

東北・北海道計量大会は定刻に開会宣言のあと、君が代斉唱、平成十八年度中の物故者三名に黙祷を捧げたあと、山本東北六県北海道計量協会連合会長より歓迎の挨拶があり、続いて計量功労者八名に表彰ならびに、感謝状二名に贈呈された。



計量功労者に当協会から嶺岸優氏、感謝状贈呈では、当協会顧問鍋島綾雄氏が表彰された。受賞者を代表して、青森県から謝辞があり、表彰式を終了した。

次に大会記念事業として、社会福祉法人 北海道社会福祉協議会に記念品の贈呈があった。このあ

と、土屋副会長より「くらしを守る確かな基準：計量計測」―信頼の礎築く適正計量―をスローガンに掲げ大会宣言とした。続いて、来賓祝辞として、経済産業省産業技術環境局知的基盤課 計量行政室長・北海道副知事・札幌市市民まちづくり局理事(社)日本計量振興協会専務理事より、連合会の発展と計量業界の躍進を祈念する祝辞が述べられ本郷副会長の挨拶で大会を閉会した。

第五十六次

東北六県北海道計量協会連合会総会

第五十六次連合総会は、計量大会に引き続き山本連合会長の挨拶に続いて、山本会長が議長に指名され、議事に入った。

「各県からの提出議題」

《議題一》

検査員の認定制度について (青森県)

《議題二》

定期検査対象計量器の特定条件についての問題評価について (山形県)

《議題三》

計量記念日普及啓発関連補助事業について (宮城県)

《議題四》

計量制度の見直しに対応する計量士の育成対策について (秋田県)

《議題五》

計量士の活用と今後の動向について (福島県)

《議題六》

連合会総会次期開催地について (北海道)

議題一・四・五について

議題一については、四・五と関連があることから、計量行政室長と議題一については、計量士一名は必要である。計量士以外の活用として、短期研修を出て貰い計量士の補助として業務に就いて貰うこ

とが良いと思われる。

日本計量振興協会(川住)と計量制度の見直しにあったと思うが、資格の分類は難しい、計量士の在り方等の委員会、検査計量士と管理計量士と分けたらという話が出たが難しい問題である。認定制度というより、短期研修を受けて貰いたい。

議題四・五について

行政室長と資質の向上の為計量士の育成を図って行く、いずれにしても関係機関の協力をいただき進めて行きたい。産総研小島センター長と短期研修は公務員対象としているもので、この教習は無料であるので活用さ



れたい。

日本計量振興協会(川住専務)と資質向上しなければいけないと思っっている。自身が努力して貰うことにある、現在テキストを作っている。基礎講座、専門講座(実習含む)を検討中である。東京・大阪で実施を考

議題二について

行政室長と定期検査、ISOに関連する話と承りましたが、定期検査は合格条件にそつたものである。JCSSは国家基準にある、ISO認証の関係事務は国の要件である。日本計量振興協会(川住専務)と生い立ちと証しがある。

課題三について

日本計量振興協会(川住専務)と補助金そのものは、一般消費者に対しての事業では補助金は出ない。オートレース関連から機械工業に関連したものでないとなない。

課題六について

次期計量大会及び第五十七次連合総会の開催地についての提案があり、次期開催地を青森県で平成二十年度実施することを承認し、総会を終了した。

ひろば

計量記念日事業

量・ふれあいひろば



に開催。今年も、八木山動物公園において、
年度「2007みやぎ計量のひろば」実行委員
計量協会共催で10月28日(日)午前10時

ター等で活躍している、ワッキー貝山氏司
続いて、太田廣検定所長からの挨拶、引き続
会議員渡辺博先生からお祝いの言葉の後、
「記念日ポスター」の入賞者表彰式のあと
長代理小松補佐、太田宮城県計量検定所長、
企画課長、渡辺仙台市議会議員、鍋島会長、
れた高橋治輝さんの6名によりテープカッ

計量記念日ポスター表彰

仙台市内の小学生から応募があり、次の方々が表彰されました。また
(社)日本計量振興協会に応募した「なんでもはかってみようコンテスト」で
奨励賞の表彰も行われた。



奨励賞

「なんでもはかってみようコンテスト」

(社)日本計量振興協会
仙台市立東宮城野小学校
3年 高橋治輝さん

会長賞

(社)宮城県計量協会
仙台市立長町南小学校
5年 鈴木良太さん

優秀賞

(社)日本計量振興協会
仙台市立鹿野小学校
5年 菅原日向子さん

入選

仙台市立荒町小学校 仙台市立連坊小学校
5年 出雲佳奈さん 5年 木村優香さん
5年 大沼優希さん



111gを 当てよう

今年も、11月1日の計
量記念日にちなんで、子
供達を対象に飴を111
グラム計量に挑戦してもら
いピッタリ賞には、学用品
セット等の景品を配りました。



2007 イベント特集

平成19年10月28日(日) 10:00~14:00

計量の

平成19年度
'07 動物と計量

重さ・長さ当て コーナー

八木山動物公園での、重さ・長さ
当てコーナーでは、ウサギさん・
フクロウ(フクちゃん)の重さ当て、
へびさんの長さ当てコーナーを設
けて子供達にふれさせたり、実際に計量
の体験をして貰ったり、大変な賑わいでした。



重さ・長さ当て投票



ウサギさん・フクちゃんは何キロ
グラムかな?へびさんの長さは
何メートルかな?
ピッタリ当てた方には豪華な景品が
おくれました

動物と計量・ふれあいひろば盛大
子供さん達を対象とした、平成19
会主催、宮城県、仙台市、(社)宮城県
から午後2時まで、開催された。

午前10時、TV番組の司会、レポ
会により開会し、鍋島会長の挨拶に
き来賓として出席された、仙台市
仙台市内の小学生から応募された
宮城県産業経済部産業立地推進課
木村仙台市経済局産業政策部経済
日本計量振興協会奨励賞を受賞さ
トが行われ、イベントが開催された

テーマ「動物とふれあい」コーナー

ウサギさん・フクちゃん・へびさんのふれあいコーナーでは、子供達は、おっかなびっくりで、さわったり、へびさんを首に巻いたりその感触を楽しんでおりました。



第29回

計量士(計量協会計量士部会)

東北地区協議会

第二十九回東北六県計量士会計量協会計量士会は、秋田県当番により、十二月六日(木)ルポールみずほにおいて、開催された。

当日は来賓として出席された秋田県計量検定所長 佐々木 博一氏挨拶、引き続き(社)日本計量振興協会 印南武雄常務理事挨拶の後、東北地区から出席された(社)青森県計量協会、(社)計量計測技術センター、(社)山形県計量協会、福島県計量士会、(社)宮城県計量協会、(社)秋田県計量協会より十九名の出席があり、(社)秋田県計量協会斎藤専務理事の司会により、当番県である、(社)秋田県計量協会会長森 洋氏の議長により協議会が開催された。



とおりでです。

- 議題一 郵政計量管理業務について (岩手県)
- 議題二 計量士の資質向上のための研修教育講習会について (岩手県)
- 議題三 日本郵政グループの現状について《情報交換》 (福島県)
- 議題四 計量士会費の協議について (福島県)
- 議題五 計量士の倫理的責任について各計量士及び関係団体はどの様に考えるべきか伺いたい (山形県)
- 議題六 大型はかり(トラックスケール)検査の現状及び対応策について《情報交換》 (山形県)
- 議題七 ISO 認証取得事業所の検査方法並びに必要な書類について (宮城県)
- 議題八 各県との交流を兼ねた技術研修について (宮城県)

これらの議題について各県より、意見交換がなされた。特に議題二の研修教育講習会について、各県から様々な意見が出された。次回当番県を青森県とすることで満場一致のもと、閉会した。

各部会合同優良事業所視察・研修会 in 岩手県

盛岡セイコー工業(株)を始めとする事業所を視察 (九月十三〜十四日)

秋晴れの中、岩手へとバスを走らせ最初に辿り着いた先は、雫石に位置する「盛岡セイコー工業(株)」です。広大な工場には、見渡す限り腕時計のパーツ製造、組立を行う機種がずらりと並び、正確な作業を絶え間なく続けています。まるで人が機械に使われている様、そんな光景です。小さな腕時計一つ製作する過程が、こんなにも複雑な機械が動き精密に作られている事にただ驚くばかりです。そして見学のラストは雫石高級時計工房と称するブースです。二十名程度の作業員が、一人一台の作業台で細かい組立や細工を施し、時計に命を吹き込みます。地元

伝統の岩谷堂箆職人が手がける特注の作業台、疲れにくさを追及して設計されたアーロンチエアが最高の作品作りに貢献しています。機械化が進歩したとはいえ、最終工程は人の手に委ねられるという、まさに機械と人の技の融合で完成品が生まれる事に感動を覚えます。海外ブランドに目が行きがちな昨今、今一度日本職人技の素晴らしさに目を向けてほしいと思いました。次に訪ねた先は創業一三〇年の南部杜氏で名高い「あさ開き酒造」です。米の栽培から始まり、水にもこだわり、生き物さながらに湿度、温度に左右されるという。精米、蒸米、仕込、発酵の作業場を拝見後は、出来立ての大吟醸を味わえるとあって楽しみなひと時でした。新鮮さは勿論フルーティなお味を堪能させて頂きました。そして最後の訪問先は、一五〇年前より鉄道の製造を続ける「鑄物メーカー」及「源鑄造(株)」です。南部鉄器は藤原の時代から現在まで、地元文化に大きな影響



を与え続けています。鉄器というと、昔話に登場する、いろりの鉄器、鉄瓶を思い出しませんが、作られている品物の豊富さには驚きました。昔ながらの製品は勿論の事、フライパンやグリル鍋、流行のパン作り鍋もあります。それらは無化学物質で体、環境に優しい現代人の生活に欠かせない製品の数々です。今回、三社の見学を通して、どの会社も人の技術と機械化が重なり合い、誠実に物作りを続けるという日々の努力こそが、長きに渡り会社を存続させる力になっている事を教えて頂いた気がします。



日本エン지니어サービスマン 吉田 睦美

会 社 紹 介

テックエンジニアリング 株式会社 東北支店

当社は1973年11月に創立され、親会社である東芝テック株式会社が製造・販売するPOS製品等の流通情報システムの保守サービスにとどまらず、ネットワークを駆使したソリューションを提供するトータルサービスプロバイダーとして事業を展開しております。東芝テックは現在、国内のPOS販売シェアのおよそ半数を占め、業界屈指のトップシェアメーカーであり、当社はそのサポートサービスを一手に引き受け確かな技術力と提案力とで顧客満足向上に努め、日本全国のサービスネットワークを通じて365日24時間、安心と快適の保守サービスを提供しております。

当社の経営ビジョンは、「トータルサービスプロバイダーと

して、技術と誠意で、安心と快適を提供いたします」を掲げ、全ての事業活動を「お客様基点」の視点で取組み、お客様にとっての快適な環境を提供し、持続的な発展に貢献することが一番重要であると捉えております。そして、一人ひとりのお客様とコミュニケーションを密にし、お客様の抱える課題の発見と解決を図り、事業発展に導くことを事業活動の原点に掲げるものです。

また東北支店は、宮城県を中心に東北地区6県9箇所のサービスステーションを傘下に置き、2007年9月に泉区上谷刈へ移転した新事務所で、全員が気持ちを新たにそしてさらにお客様にご満足頂けるサービスをご提供するべく努めてまいります。

会社概要

商号	テックエンジニアリング 株式会社
代表者	代表取締役社長 篠塚 明彦
本社住所	東京都江東区木場五丁目8番40号 TEL:03-5245-9001 FAX:03-5245-3495 URL:http://www.teceng.co.jp
設立	1973年11月1日
資本金	2億円
従業員	1981人
事業所	5支社9支店110サービスステーション
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●東芝テック製品の保守サービスおよび他社製品のサポート ●ソフト保守/セキュリティ対策およびシステムの運用代行 ●ネットワークのコンサルタント～設計、稼働 ●設備機器、屋内配線の設計、工事 ●製品・サプライ販売(東芝テック製品、情報セキュリティ製品、無停電電源装置(UPS)、雷防護装置(サンダーガード)、サプライ商品)
関係会社	株式会社 テーイーアール



テックエンジニアリング 株式会社 東北支店

- 支店長 大庭 雅樹
- 住所 仙台市泉区上谷刈6-10-22
TEL:022-772-6080 FAX:022-218-4516



今年の大会は、釣ったマガレイ・マコガレイの枚数で競い合い、最高で一六一枚も釣り上げ、平均でも七十〜八〇枚の釣果となり皆クレーポックス一杯になりました。

総勢十九名の太公望が釣り船二艘に分乗し朝五時三〇分に大型漁礁目指し出港、漁場について竿を降ろすや否や直ぐにマガレイ・マコガレイが食い付き昨年と同様皆休む暇無い程の大会となりました。

今年、波もなく絶好の釣り日和に恵まれ恒例の釣り大会を六月十七日(日)に開催しました。



入賞者	<ul style="list-style-type: none"> ●優 勝 百六十二枚 内海 宗夫氏 (トキコテクノ株) ●第二位 九十五枚 千葉 隆氏 (トキコテクノ株) ●第三位 八十七枚 佐藤 文雄氏 (テックエンジニアリング株)
-----	---



宮城県計量検定所からの お知らせ

今年度中元期の立入検査の結果
についてお知らせします。

商品量目立入検査の結果は、検査件数十五件、検査個数五百九十五個、うち量目不足九十二個で不適正率は十五・五％でした。量目不足の主な原因は、計量時における風袋引き等の設定ミスによるものであり、風袋引き等を正しく設定すれば量目不足の大部分は防げるものでした。

また、同時に行った「はかり」の検査の結果は、検査件数十七件、検査個数九十五個、うち不適正個数二個で不適正率は二・〇％でした。

なお、これから特定計量器の立入検査を行う予定ですが、最近、有効期間切れ等が増加傾向にあり、また不適正計量器を排除するためにも立入検査の強化を図ることとしております。

さらに、計量思想啓発の重要性を認識し、普及に努めてまいります。



平成二十年年度

「仙台市指定定期検査期間」 検査実施区域

計量法第十九条(定期検査)及び第二十条(指定定期検査期間)に基づく、仙台市の定期検査は、次のとおりです。

大型はかり・小型はかり(予定)

- 若林区(四月～六月)
- 泉 区(六月～八月)
- 宮城野区(九月～十一月)

「特定計量器代検査」 実施区域

計量法第十九条(定期検査)及び第二十五条(定期検査に代わる計量士による検査)による検査区域は次のとおりです。

小型はかり

- 気仙沼市・東松島市・大崎市・名取市・岩沼市・角田市・白石市・本吉郡(南三陸町、唐桑町)・牡鹿郡(女川町)・加美郡(色麻町、加美町)・遠田郡(美里町、涌谷町)・亘理郡(亘理町、山元町)・伊具郡(丸森町)

大型はかり

- 小型はかりの区域と同様
- 石巻市(旧桃生郡内のみ)

お知らせ

計量協会各部会合同研修会の開催
今、話題になっております、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の健康管理面等についての講演会を開催予定といたしております。皆様の参加をお待ちいたします。(参加無料)

期 日

平成二十年二月十四日(木)
十四時～十五時三〇分

場 所

仙台市青葉区中央一―三―一
アエル二十八階エル・ソーラ仙台
研修内容
一、健康管理の話
(メタボリックシンドローム)
十四時～十五時

講 師

保健師・看護師・助産師
山田 真知子氏

二、食事と健康の話

十五時～十五時三十分

講 師

管理栄養士 奥村 千晶氏

参加申込

協会事務局に二月四日まで
TEL〇二二―二四六―二四六六
FAX〇二二―二四七―一四九〇



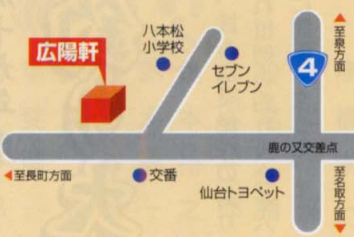
お気に入り紹介

今回紹介するお店は、太白区八本松にある創業二十余年の老舗中華料理店「広陽軒」です。
メニューは麺類・ご飯類・焼そば類・一品料理と多岐にわたり、そのいずれを頼んでも美味しいところはさすが老舗中華料理店と言えます。

とくにその中でもおすすめする料理は店の名前がついている「広陽軒定食」。見た目は普通の野菜炒めなのですが、材料にタケノコや椎茸、チャーシューが入っており、これは正に中華料理。シンプルなだけに実力がうかがえる一品です。

また、お店の外観も店内も気取ることのない雰囲気、宴会が出来るほどに広い座敷席もあり、ご家族や団体でも気軽に立寄ることが出来ますので、お近くにお出での際は是非訪ねてみて下さい。

〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松1-16-13
中華料理 「広陽軒」 TEL 022-247-4726
水曜定休 営業時間 11:00~21:00



編集後記

国際学習到達度調査の結果、日本は二位から六位に転落した。「詰め込み教育」から「ゆとり教育」への教育指導要領の転換が転落した原因であると新聞等に記されていた。

政府も教育指導要領の見直しを検討しはじめた。「ゆとり教育」からどんな教育になるのか、その前に教育する側の教育が必要である。

戦後の日本は経済復興を目標に国際的に同格レベルになるよう産業技術の向上に必要な理数系に重点をおいてきた。

その後、理数系産業よりも文化系産業に社会が変化しただけであって理数系の点数を順位に一喜一憂することなく未来を見据えた教育指導をしてほしいものである。

当協会は昨年新会長、新役員での「みやぎ計量のひろば」を八木山動物公園で二回目の開催となりましたが、関係者各位の協力で盛会に終ることができました。(編集委員長 加藤)

